

**製品名: ネクチン 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14529**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	57kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PVRL1
別名	PVRL1; HVEC; PRR1; Poliovirus receptor-related protein 1; Herpes virus entry mediator C; Herpesvirus entry mediator C; HveC; Herpesvirus Ig-like receptor; HIgR; Nectin-1; CD111
遺伝子 ID	5818.0
SwissProt ID	Q15223
免疫原	抗血清はヒト PVRL1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

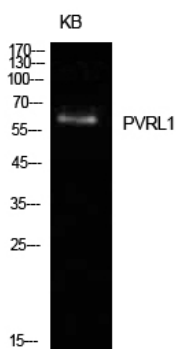
**背景**

この遺伝子は、上皮細胞および内皮細胞における接着結合およびタイトジャンクションの組織化に関与する接着タンパク質をコードしています。このタンパク質は、カルシウムイオン非依存性の細胞間接着分子であり、免疫グロブリンスーパーファミリーに属し、3つの細胞外免疫グロブリン様ループ、単一の膜貫通ドメイン（一部のアイソフォーム）、および細胞質領域を有しています。このタンパク質は、単純ヘルペスウイルス1型および2型（HSV-1、HSV-2）、ならびに仮性狂犬病ウイルス（PRV）の糖タンパク質D（gD）の受容体として機能し、上皮細胞および神経細胞へのウイルスの侵入を媒介します。この遺伝子の変異は、口唇裂口蓋裂/外胚葉性異形成1症候群（CLPED1）および非症候群性口唇裂（口蓋裂を伴うまたは伴わない）（CL/P）を引き起こします。選択的スプライシングの結果、異なるC末端を持つタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2009年10月]、疾患：PVRL1の欠陥が、マルガリータ鳥型外胚葉異形成症（EDMI）[MIM:225060]の原因です。ズロトゴラ・オグル症候群、口唇裂/口蓋裂外胚葉異形成症候群（CLPED1）、または外胚葉異形成症4としても知られています。外胚葉異形成症は、2つ以上の外胚葉構造の異常な発達による異質な障害群を定義します。EDMIは、口唇裂/口蓋裂、外胚葉異形成症（まばらで短く乾燥した頭髪、まばらな眉毛とまつげ）、および手指および/または足指の部分的合指症を伴うことを特徴とする常染色体劣性症候群です。患者の3分の2は口唇裂を呈さないが、歯と爪の異常を呈する。疾患：PVRL1の欠陥は、非症候性口腔顔面裂7型（OFC7）[MIM:225060]の原因である。非症候性口腔顔面裂は、口蓋裂を伴う、または伴わない口唇裂からなる一般的な先天異常である。症例の3分の2で口唇裂が口蓋裂を伴っている。口唇裂は片側または両側に発生する可能性があり、重症度は上唇に単純な切れ込みがあるだけから、鼻孔底まで広がり上歯茎を巻き込む唇の完全な開口部まで様々である。機能：同種親和性または異種親和性のトランスダイマーを形成することにより、細胞間接触を促進する。PVRL1/ネクチン-1とPVRL3/ネクチン-3の間、およびPVRL1/ネクチン-1とPVRL4/ネクチン-4の間で異好性相互作用が検出されています。類似性：ネクチンファミリーに属します。類似性：1つのIg様V型（免疫グロブリン様）ドメインを含みます。類似性：2つのIg様C2型（免疫グロブリン様）ドメインを含みます。サブユニット：PVRL3/ネクチン-3およびPVRL4/ネクチン-4とトランスヘテロ二量体を形成できます。（C末端を介して）アフアディンと（PDZドメインを介して）相互作用します。この相互作用により、PVRL1がカドヘリンに基づく接着結合にリクルートされます。インテグリン $\alpha$ V/ $\beta$ 3と相互作用します。単純ヘルペスウイルス1型および2型、および仮性狂犬病ウイルス糖タンパク質gDと相互作用し、これらのウイルスの受容体として機能します。

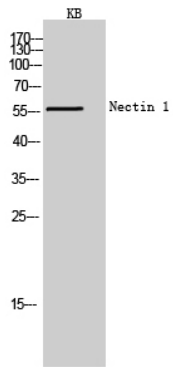
## 研究分野

細胞接着分子（CAM）;接着結合;

## 画像データ



ネクチン1ポリクローナル抗体を用いたKB細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。



ネクチン 1 ポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。